



## やすらぎの環境と、美しい花の装いのハーモニー 「敬意と品位をもって、私たちの温かく優しい心と手でお届け」

東京都杉並区にある「医療法人社団 回心会 ロイヤル病院」は、198床の医療療養型病院。「自分や自分の家族を安心して預けられる病院」を目指し、心のこもった医療や看護を提供されています。今回は病院独自の取り組みや、お召しになっているユニフォームについて、看護部長 小西紀江さんにお話を伺いました。



看護部長 小西紀江さん

### クラシックBGMと各所に花を飾ったやすらぎの環境

医療療養型病院として、大切にされていることをお聞かせいただけますか？

日本の歴史、文化、四季折々の行事を重んじ、これまで歩んでこられた日常を思い出しながら療養なさっていたきたいと年間計画に盛り込みイベントを提供しともに喜びねざらいと感謝の言葉をお届けすることです。



看護部として取り組まれていることをお聞かせください。

私たち職員も、患者さまにとって環境のひとつと捉えています。ペットーク、ポジティブシンキング、ユマニチュード方式を活用し声のトーンや話し方、立ち居振る舞い、身だしなみを含めた所作、品位を大切にしています。

働いておられる皆さんも、とても元気で明るい印象を受けました。

看護部は「患者ハッピー・家族ハッピー・私もハッピー」をモットーにしています。患者さまにハッピーを届けるためには、働く側のハッピーも大切。会議や研修を時間内に終わらせるなど、働きやすさの実現に努めています。心と身体にやさしい職場にすることで、患者さまに丁寧な寄り添うことができ、結果として質の高い看護を提供できていると思っています。

新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、取材撮影を行いました。

この6月からユニフォームが一新されましたが、ご採用いただいた理由をお聞かせください。

このユニフォームを通じ、患者さまに真心と癒しをお届けしたいと切に想いました。女性が9割を占める職場であり、患者さまも70%が女性ですから、女性の優しさを相乗する花柄はぴったりですし、花を見て多くの方は幸せを感じます。温かみのあるオフホワイト、幅広い年代の職員、患者さまにも受け入れられる上品なデザインで、当院の介護職のユニフォームともマッチングします。患者さまへマスク下にある笑顔をお届けできない部分を襟元、袖口、患者視線ではポケットの花柄から、後姿も優しく揺れる美しさをお届けできると感じました。

実際に導入されてから、スタッフの皆さま、まわりの方からの反応はいかがでしょう？

スタッフは全5種類からカラーやデザインが選べるので、自分らしさも表現でき、選ぶ楽しさもあるので好評です。看護部が集合すると花畑のように華やかで、まわりも明るくなります。面接に来られる看護師の方や業者の方からも、「そのユニフォーム素敵です!」と何度褒められたことか!「マスク着用厳守の現状に花を添えるように心が明るく優しくなった」という嬉しいお言葉もいただいています。

### 病院のめざす環境を体現する、美しい花の装い



最後になりましたが、看護部の今後のビジョンや、目標などをお聞かせください。

看護部長はじめ看護師長、主任はたおやかな集団。当院は歴史的に時間内会議、時間内研修を実践しています。心と身体に優しく、患者さまに優しく細やか丁寧な!をモットーに、これからも温かく優しい心と手で、看護をお届けしていきたいと考えています。

院内にたくさん飾ってあるお花のように、皆さんの明るさに、こちらも自然と笑顔になれます。長い療養を必要とされる患者さまも、その明るさが何よりの癒しになっているのではないのでしょうか。ロイヤル病院の皆さまがめざす環境づくりに、ローラ アシュレイのユニフォームがお役に立っているとお聞きできて光栄です。今回は本当にありがとうございました。